

1. Twinかやぶきアートスペース&かやぶき演芸館

古民家愛好協会
(岩手県二戸郡浄法寺町)

I. 活動の背景と目的

背景 浄法寺町でも残り少なくなった南部茅葺き家が二棟並んで保存状態も良く現存していた。

このまま放置してはいずれ壊れてしまう、何か楽しく活用できないかと考えた2才児をもつ30代の夫妻が東京から移り住み、その2棟のうち1棟を利用して古民家愛好協会の会員らと共に活動を始めた。もう一棟は0～40才代の浄法寺町の住民たちが管理をし、共に交流を行っていた。

目的 2棟を“Twinかやぶき”と呼び、アートスペース、演芸館、サロンとして2棟を互いに往来しながら活用していく。

II. 活動の内容

2棟の茅葺き家がスープの冷めない距離にあることを生かした活動を行った。

1棟は居住スペースとしての活用及び、漆芸家である夫による漆工房とShopの開設を、グラフィックデザイナーである妻のデザイン工房を開設した。隣接するもう1棟の茅葺き家は古民家愛好協会の会員らと共に高齢者のための演芸館及びサロンとして活用した。

そして、Twinの茅葺き家を行き来することで、高齢者と若年者が交流を始める場をつくった。そしてアートスペース(工房・Shop)と演芸館で町民が地域外の人々協力して、茅葺き家の活用を楽しむことにつながった。

それは、地元民の手作りによる古民家の修理・改装と会員の建築家によるスペースデザインの融合や、地元の民謡と会員の音楽家によるコンサートを行ったことによる。

また、地元の伝統的産業である漆を使った器(地元にも古くから伝わる器も含めて)の使い方を楽しむテーブルコーディネート等の講演会・発表会では町内外の若年者・高齢者の交流だけでなく、地場産業の良さを見直



問い合わせ・岩手県二戸郡浄法寺町浄法寺町長渡路 浄法寺町内 電話 浄法寺 0195-38-440 fax 462

茅葺き家での演芸会の案内チラシ

すきっかけをつくった。

岩手広告協会主催岩手広告賞に活動告知ポスター・チラシを出品。選には洩れたが審査委員・中村誠氏から好評を得た。

III. 活動の効果及び今後の課題

町内にどどまらず岩手県内はもとより、東京・京都・金沢・新潟・千葉等から人が集まり茅葺き家に対する関心が高まった。

茅葺き家だけでなく、それを取り巻く昔ながらの生活や昔の食物・道具は若年者には新鮮な驚きをあたえ、高齢者は活気を持つようになった。

また、近隣の町・村（カシオペア連邦である二戸市・一戸町・軽米町・九戸村）からも問い合わせがあり、自らの町・または自分の持っている茅葺き家を誇りに思い、壊すことではなく、保存活用を考えるようになった。

今後の課題としては、茅葺き家にとどまらず地区の象徴としての歴史的建造物を調査し、末ながく楽しく住民と共に保存活用して行くことを考える。



地元と東京の若者の演芸会



小学生の漆体験教室